

## JLA 要介護者スイミングサポート事業実施概要

2023年6月30日  
救助救命本部

日本国民の13人に一人の割合で、何らかの障がいを持った方が存在していると内閣府から発表されています。一方、13人に一人の割合で障がいを持たれている方が水辺を利用している状況にないのが現状です。

これは、要介護者施設の介護スタッフの数が不足や、水辺での安全管理体制に人手が足りないことにより、要介護者が水辺利用しにくい環境事由の一つと挙げられます。

我々ライフセーバーが、ほんの少しのサポートで多くの国民の笑顔に繋がることから、救助救命本部及び教育本部と共に、国民に求められる公益性ある活動として、下記の通り事業を実施しますので報告します。

- 内容： 要介護者がプールや海などのレジャーをもっと安心して楽しめるように、サポートしていく安全スイム体験会  
ライフセーバーと水慣れ、レスキュー道具に触ってみよう、ライフジャケットを着てみよう、チューブを使って浮いてみようなど。
- 日程等： 2023年7/30(日)16:00～17:00 ミーズクラブ（東京都武蔵野市境南町 2-12-2）  
電車：JR中央線「武蔵境」駅 南口徒歩3分  
車：駐車場は近隣のタイムズ（クラブ利用による割引はありません）
- 主催： 一般社団法人日本障がい者スイミング協会 代表指導員 酒井 泰葉 様
- 定員： 10組（要介護者の家族・保護者・兄弟も同席可）  
支援員は身体介助や手話通訳等を行う。全体を見守るため日頃のようなマンツーマンでつくことは不可。参加要介護者お一人のご参加が難しい際は、ヘルパーやご家族との同席参加必須。
- 使用器材： ウォーターパークチューブ 10本・ライフジャケット 10着
- 参加指導員： 植木 将人 ライフセービング教育本部 推薦  
宮原 光興 パトロールレスキュー委員会  
縄手 大志 パトロールレスキュー委員会  
石川 仁憲 救助救命本部 本部長  
菊地 太 救助救命本部 副本部長



水辺の事故ゼロをめざして  
日本ライフセービング協会